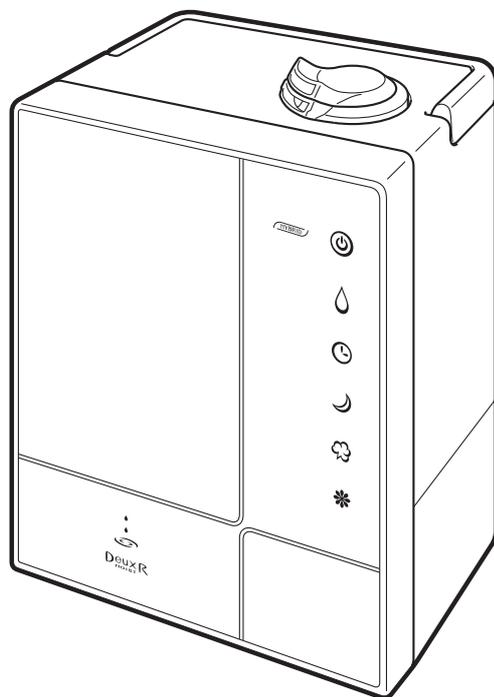
TOYOTOMI

トヨトミ
加熱超音波式
ハイブリッド加湿器

型式 THK-F400
ティー エッチ ケー エフ

取扱説明書
〈保証書付〉

このたびはトヨトミハイブリッド加湿器をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

ご使用の前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、取扱いのわからないときや、不具合が生じたときにお役立てください。

目　次

Z07-1　株式会社 トヨトミ　4450000701

1 安全のために必ずお守りください

●お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しく使用するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
●ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告(WARNING)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意(CAUTION)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

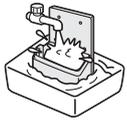
●お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。

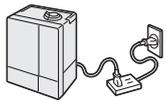
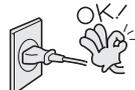
	この絵表示は、「禁止」されている内容です。		この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。

●説明文中の**「お願い」**事項は、本機を誤りなく正しくお使いいただくための内容が記載されています。

⚠警告(WARNING)

●電源は交流100V以外で使用しない。
100V以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、火災・感電の原因になります。

●本体を水につけない、水をかけない、直接水を入れない。
送風口や吸込口（製品の底面にある）から水が回りこんで火災・感電・ショートの原因になります。

●幼児の手の届く所で使用しない。
感電・やけど・部品を誤飲する原因になります。

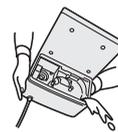
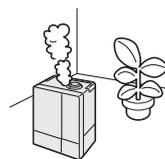
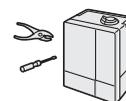
●壁コンセントから延長コードを使用して運転しない。又は他の電気器具とは共用しない。
火災や感電、電源プラグの発熱の原因になります。

●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように刃の根元まで確実に差し込む。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

●電源コードは、束ねたり、引っ張ったり、物を載せたり、加熱したり、加工したり、物と物との間にはさんだりしない。
電源コードが破損する原因になります。
傷んだまま使用すると感電や火災などの原因になります。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。

●本体内部のお手入れに下記の洗浄剤を使用しない。
塩素系・酸性・アルカリ性・電気ポット用洗浄剤（クエン酸等）
本体内部に洗浄剤が残り、有毒ガス発生や水漏れの原因になります。

⚠警告（WARNING）

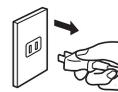
●**霧吹出口、吸込口に異物を入れない。**
感電・やけどの原因になります。

●**排水するときは、水タンクをはずし、必ず右図の方向に排水してください。**
手順と排水方向を誤ると、水が回りこんで火災・感電・ショートの原因になります。

●**一般家庭の居室以外で使わない。**
特に温室など高湿度で連続使用すると、器具の寿命が短くなったり感電・火災のおそれがあります。
また、食品・動植物・楽器・美術品等の保存などの特殊用途に使用しますと、加湿器自体ならびにこれらの品物の品質低下の原因になります。

●**改造はしない。また修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造をおこなわない。**
火災・感電・けがの原因になります。

●**異常時（水漏れ、こげくさい等）は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店または、11 お客様相談窓口一覧にご相談ください。**
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。

●**修理は、お買い求めの販売店または、11 お客様相談窓口一覧にご相談ください。**
ご自分で修理をされ、修理に不備があると、感電・火災等の原因になります。

⚠注意（CAUTION）

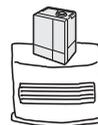
●**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って抜く。**
コードをもって抜くと芯線が破損してショート・感電・発火の原因になります。

●**使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。**
けがややけどの原因になったり、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

●**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない。**
電源コードや電源プラグが異常に発熱し、溶けたり変形して、感電・ショート・発火の原因になります。また、コンセントの差し込みがゆるいと感じた時は工事業者に依頼してコンセントを取り替えてください。コンセントを交換しても異常に発熱している場合は販売店に修理依頼してください。

●**不安定な場所に置かない。**
転倒するとけがや故障の原因になります。

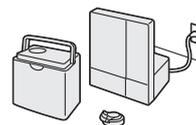
⚠注意（CAUTION）

●**落とした水タンク・本体を使わない。**
そのまま使うと破損箇所から水漏れしてショート・感電・発火の原因になります。

●**暖房機・テレビなどの電化製品や、熱に弱いテーブルや棚などの上に置かない。**
転倒すると感電・ショートの原因になります。また本体底面の熱によりテーブルや棚自体もしくは表面の塗装（ニスやラッカーなど）の変形・変色の原因になります。

●**水タンクの水は毎日新しい水道水と入れかえ、本体内部は常に清潔を保つよう定期的に掃除する。**
掃除せずにお使いになると、汚れや水あかにより、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し、健康によくないことがあります。
この場合は医師に相談してください。

●**使用中や使用直後は、持ち運んだり、お手入れをしない。**
やけどの原因になります。

●**水は必ず水道水を使用し、汚れた水やお湯、洗剤などは入れない。**
水に薬品・香料・精油などを入れない。
健康を害することや、器具の故障や変形の原因になります。

●**水タンクや吹出口をはずしたまま、電源を入れない。**
水が飛び散ったり、水柱に手を触れると痛みを感じたりして危険です。
●**水がないままや、横転、逆さにしたままで電源を入れない。また、電源を入れたまま横転や水を捨てない。**
振動子がこわれ、故障の原因になります。

●**外出するとき、使用しないとき、保管するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。**
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

●**給水は、必ず水タンクに給水する。水そう部に直接給水しない。**
送風口等に水滴が入ったりして、漏電・感電のおそれがあります。

●**水を補給するために水タンクをはずすときは、必ず「運転スイッチ」を「切」にする。**
送風口に水滴が入ったりして、故障の原因になります。

使用上のご注意とお願い

●直射日光のあたるところや暖房器具の近くに置かない。
変形・変質や故障の原因になります。

●本体の上に物をのせたり、乗ったりしない。
転倒による本体の破損・故障の原因になります。

●本体をさかさまにしない。
故障の原因になります。

●吸込口・吹出口をふさがず、室内の空気がよく循環する場所に置く。
性能低下や故障の原因になります。

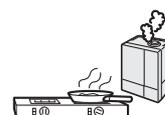
●移動するときは、傾けたり、ゆすったりしない。
水がこぼれます。
水そう内の水量が増えすぎて、加湿しにくくなります。

●凍結に気をつける。
凍結したまま使うと、故障の原因になります。
凍結のおそれのあるときは、水タンクの水を捨ててください。

●窓や冷たい壁からは、できるだけ離して風通しの良い場所に置く。
窓や冷たい壁に霧がかかりますと、水滴となって窓や壁、床につくことがあり、カビなどが発生することがあります。
風通しの良い場所で使用してください。

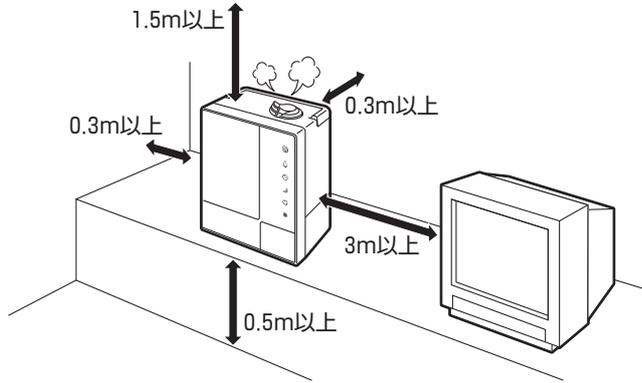
●加湿された風を直接家具・電気製品・壁・カーテンなどに当てない。
家具や壁にシミが付いたり、故障・変形の原因になります。

炎色反応について

ガス器具の近くでご使用になりますと、ガスの炎（通常は青色）がだいだい色になることがあります。これは水中に溶けているカルシウムなどが加熱されるときに特有の光を発する現象なので心配ありません。

白い粉について

お使いになる水によっては、水中に溶解しているカルシウムなどが白い粉となって、テレビや家具などに付着することがあります。
付着したときは、やわらかい布などで早めにふきとってください。

2 設置場所について

設置場所の基準寸法のめやす

●図のように、周囲との距離を充分にとる。
（同じ部屋で加湿器を２台以上使用する場合は、間隔を0.６m以上離す。）

●テレビ・オーディオ等のＡＶ、パソコン機器から３m以上離し、できるだけ別のコンセントを使用する。
電波の弱い地域では、映像の乱れや雑音が出ることがあります。

こんな場所には設置しない

落下物の心配がある場所、凹凸のある場所では使用しない
不安定な物をのせた棚などの下、凹凸がある不安定な場所では使用しないでください。思わぬ事故や誤作動の原因となります。

じゅうたん・電気カーペット・ふとんなどの上
毛足が長いじゅうたんの上や、ふとんの上などに置くと、吸込口がふさがれて霧の出かたが悪くなります。また、内部温度が上昇して水があふれたり、安全装置が誤作動することがあります。

窓や冷たい壁からは、できるだけ離して風通しの良い場所で使用する
窓や冷たい壁に霧がかかりますと、水滴となって窓や壁、床につくことがあり、カビなどが発生することがあります。風通しの良い場所で使用してください。

直射日光があたる場所、暖房機の上や近く、温風があたるところ
変形・変色したり、センサーが誤作動することがあります。また、水タンクの圧力が上がり、霧の出かたが少なくなることがあります。

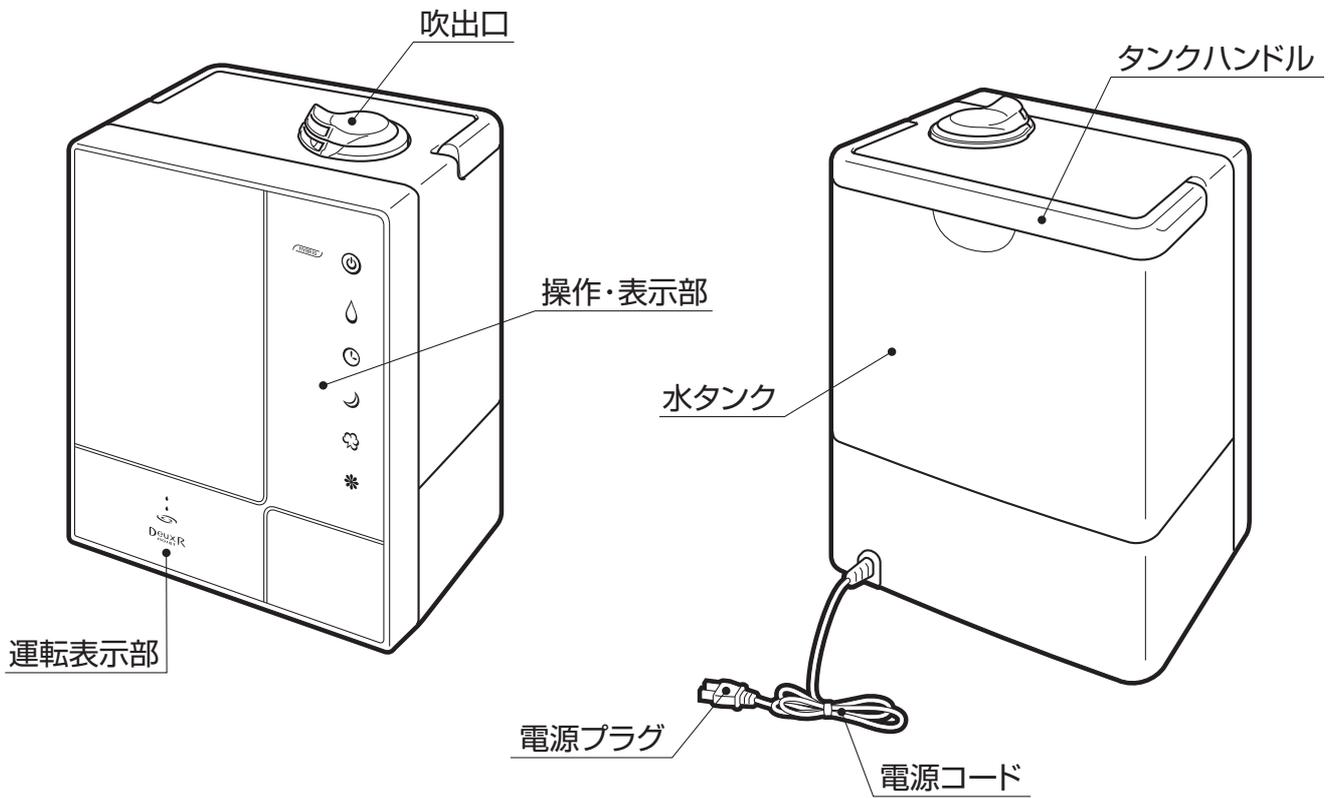
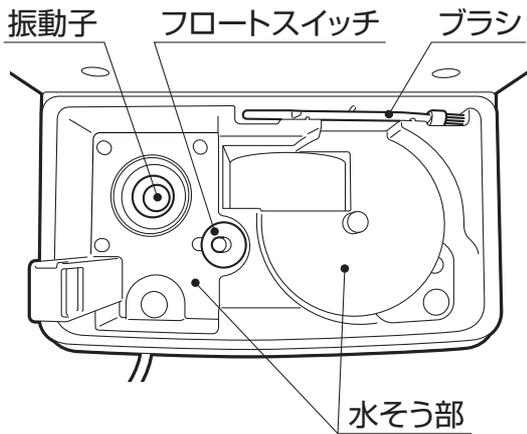
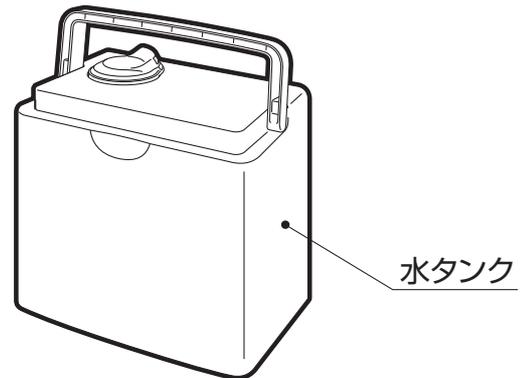
霧が家具・壁・カーテン・天井・電気製品などに直接あたるところ
故障したり、家具などにしみが付いたり、変形の原因になります。

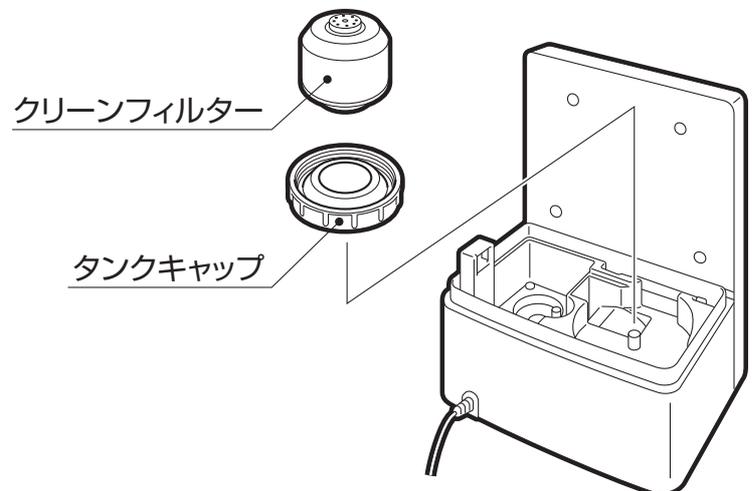
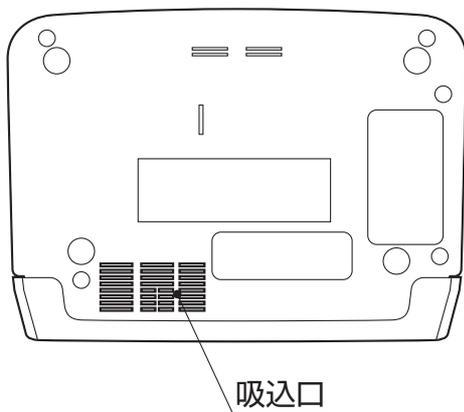
電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気の多いところ
正常に動作しない場合があります。

傾斜のあるところや不安定な場所
本体が傾くと、加湿量が変化したり、フロートスイッチが作動して運転が停止することがあります。

3 各部のなまえ

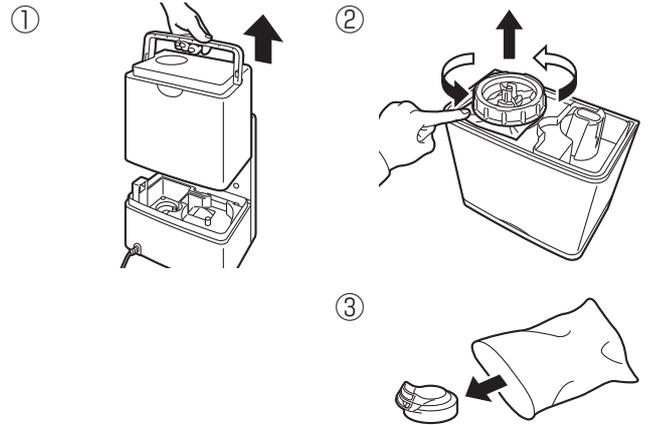
外観図

吹出口
タンクハンドル
操作・表示部
水タンク
運転表示部
電源プラグ
電源コード

本体内部

水タンク

底面

4 使用前の準備

⚠注意	ご購入時、吹出口、クリーンフィルターは水タンクの中に入っています。 クリーンフィルターはタンクキャップに組みつけられています。	指示

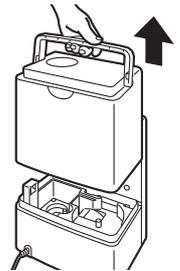
1. 吹出口を取り出す。

①本体から水タンクを取りはずします。
②水タンクとタンクキャップに挟まっているビニール袋を押えながら、タンクキャップを左「↺」に回して取りはずします。
③ビニール袋から吹出口を取り出します。

①
②
③
2. 水タンク内の洗浄をします。

⚠注意	水タンクのハンドルは水タンク専用になります。 本体の移動には使用できませんのでご注意ください。	指示
	給水は、必ず水タンクに給水する。水そう部に直接給水しない。 送風口に水滴が入ったりして、漏電・感電のおそれがあります。	禁止

①ハンドルを持って本体から水タンクを取りはずします。

お願い

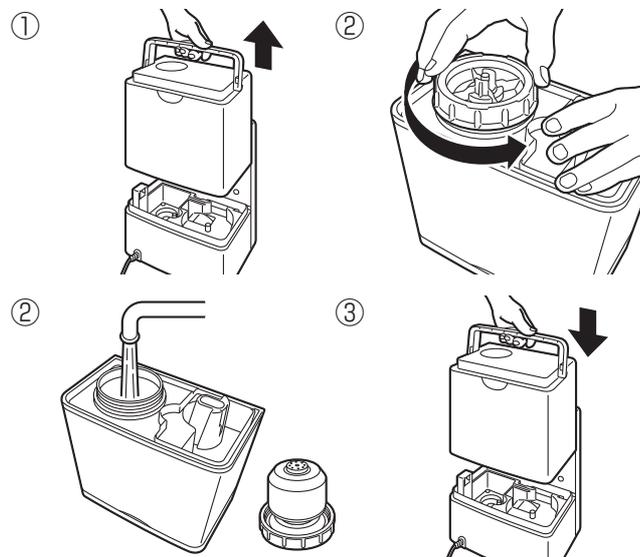
洗剤は使用しないでください。霧の量が少なくなります。

3. 水道水を水タンクに入れてください。

⚠注意	水は必ず水道水を使用し、汚れた水やお湯、洗剤、ミネラルウォーター、井戸水などは入れない。 水に薬品・香料・精油などを入れない。 健康を害することや、器具の故障や変形の原因になります。	禁止
	水タンクはゆっくりと入れてください。 誤って落とすような入れ方をしますと、水タンクに水があるのに給水警告することがあります。このようなときは、「運転スイッチ」を「切」にして再び「入」にしてください。	禁止
	水を補給するために水タンクをはずすときは、必ず「運転スイッチ」を「切」にする。 送風口に水滴が入ったりして、故障の原因になります。	指示

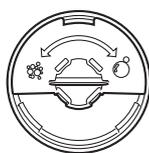
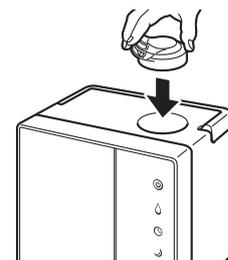
お願い

●水タンクに水を入れるとき、持ち運ぶときなどに、誤って水タンクを落としたりすると破損します。充分に注意してお取扱いください。
●給水のとき、水タンクの給水口に水道の蛇口を直接差し込んで給水することはおやめください。水タンクが破損することがあります。

①吹出口をはずし、水タンクを取りはずします。
②タンクキャップを左「 」に回して取りはずし、水道水を入れます。
③タンクキャップを右「 」に回して、しっかり締め、水タンクを本体にセットしてください。

お願い

●給水のときに水タンクいっぱいまで給水してタンクキャップを締めるとクリーンフィルターが組みつけられている場合、クリーンフィルターの容量分の水が溢れてしまいますので注意してください。
●タンクキャップからクリーンフィルターを取りはずすときクリーンフィルターの内部に残っている水が流れ出る場合がありますので注意してください。
●水タンクを本体からはずしたまま、放置しないでください。暖房器具の熱や直射日光で温度が上がると、水タンク内の空気がふくらみ、水タンクが変形することがあります。
●タンクキャップは確実に締めてください。タンクキャップを斜めに締めたり、ゆるんでいたりすると、水が水タンクから簡単にこぼれて、お部屋を汚したり、製品にかかって、感電やショートなどのおそれがあります。

4. 吹出口を水タンクにセットします。

●吹出口をお望みの方向に向けてください。
　吹出口は上下の 2 つの口がそれぞれ 360° 回転します。
　吹出口を取り付けないで運転すると霧で本体や周辺が濡れてしまいます。
　必ず運転前に吹出口を取り付けてください。
●吹出口の裏面で、霧の大きさを抑えることができます。

：発生した霧がすべて吹出されます。

：霧の大きな粒を抑えることができます。
　また加湿量を減少させることができます。

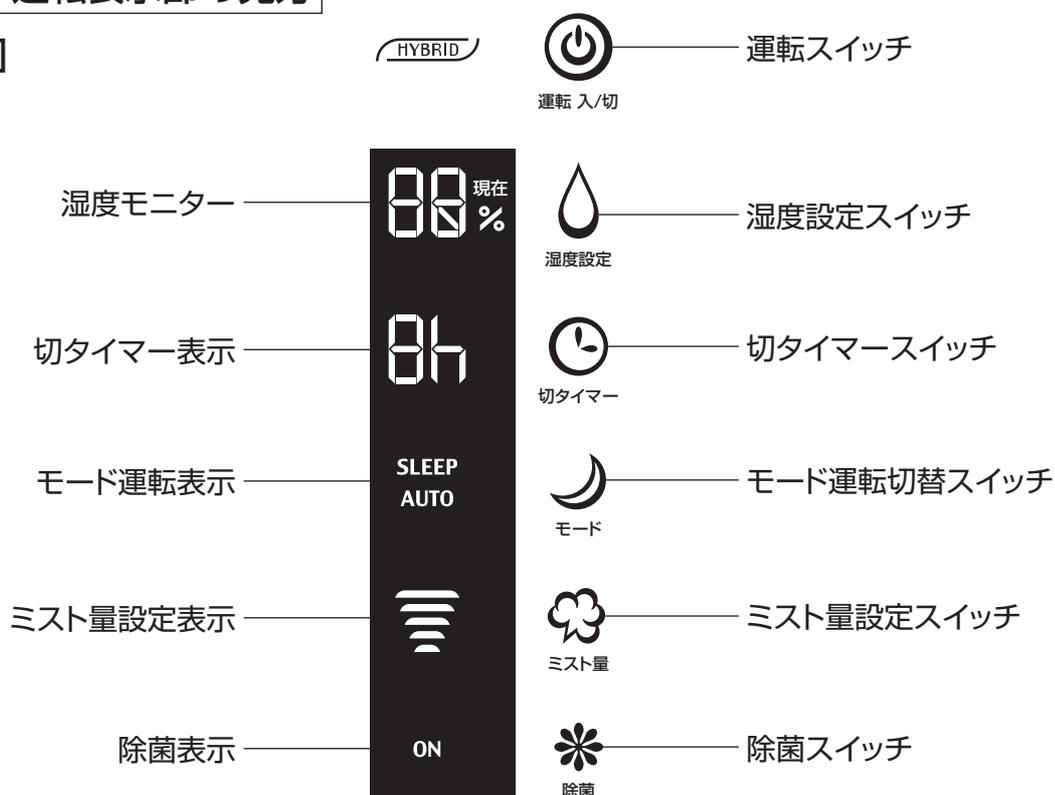
中央のつまみを手前に引きながら、それぞれのマークがある方向に回して調節してください。

5. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

●電源プラグを交流100 Vのコンセントに差し込んでください。

	クリーンフィルターを初めてご使用になる場合、水の透過に時間がかかるため数分待ってから電源を入れてご使用ください。 **電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように刃の根元まで確実に差し込む。** **ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、異常に発熱し電源プラグが溶けたり変形して感電や火災の原因になります。**	 確認

操作表示部・運転表示部の見方

[操作表示部]

湿度モニターの見方

●**現在湿度50%の場合**

●**湿度設定表示**

湿度設定スイッチを1回タッチすると「現在」表示が消灯し設定湿度を表示します。
しばらくすると「現在湿度」の表示に切り替ります。

●**湿度モニターは目安にしてください**

（湿度計の表示と差が出ることがあります。）
同じ室内でも温度差や気流などのため、場所や高さによって湿度が違う場合があります。また湿度を検知するセンサーは本体底面の吸込口の奥にあります。加湿の霧がセンサー部付近におりてきていると、正確な湿度を表示できません。その時は、吹出口の方向を調節してください。

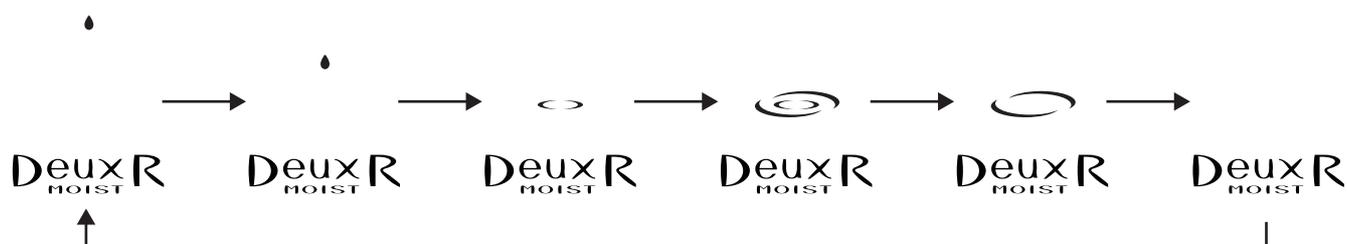
水タンクの水がなくなったとき

5回報知音が鳴り、下図の運転表示部が「点滅」し、給水警告します。

●運転は自動的に「停止」し、「運転表示部」を除きすべての表示が「消灯」します。約1分経過すると「運転表示部」が「消灯」し、運転OFFの状態になります。

●続けてお使いになる場合は、水タンクに水を給水すると自動的に運転が再開されます。

[運転表示部]

●**運転中は本体正面左下にある「運転表示部」が下図のように点灯します。**

5 使いかた

本体の操作部にある各スイッチは軽く触れる（タッチする）ことにより操作できます。

1. 運転スイッチ（運転 入/切）にタッチする。

●湿度モニター、切タイマー、モード、ミスト量、除菌の各表示が点灯します。（初期設定）

●設定湿度より、現在湿度が高い場合には加湿しません。
（運転開始後は現在湿度、設定湿度に関係なく約1分間は加湿します。）

●運転時、本体の電気部品から「カチッ」という音がしますが異常ではありません。

●「運転スイッチ」をタッチしたあとに水温程度の霧が出ます。

2. 湿度設定スイッチ（湿度設定）をタッチし、お好みの湿度を設定する。

●（湿度設定）をタッチするごとに40→45→50→55→60→65→70→75→Co（連続運転）の順に表示が変わります。
（設定中は「現在」のランプは表示されません。）

●現在湿度が設定湿度以上になると加湿は停止します。

●湿度設定後、しばらくすると湿度モニターは現在湿度を表示します。

3. ミスト量設定スイッチ（ミスト量）をタッチし、ミスト量を選択する。

●（ミスト量）をタッチするごとに下図のようにミスト量を５段階で設定できます。

●「１段階」から順にミスト量が多くなり、「５段階」が最も多くなります。

4. 消費電力を少なくしたいとき。（除菌運転をしないとき）

●（除菌）をタッチします。除菌表示「ON」が消灯し、除菌ヒーターの通電を停止します。
およそ85 Wの消費電力が少なくなります。

●もう一度（除菌）をタッチすると除菌表示「ON」が点灯し、除菌ヒーターに通電します。

5. タイマー運転を使用する。

●このタイマー運転は設定時間が経過すると自動的に運転を停止する「切」タイマーです。

●（切タイマー）をタッチするごとに１時間～９時間まで１時間ごとに設定ができます。「切」タイマー表示は１時間経過ごとに数値が切り変わります。（残りのタイマー時間が表示されます。）

●タイマー運転をおこなう前は水タンクの残り水量を確認してください。水が少ないとタイマー運転で停止する前に、運転が停止してしまいます。

6. 自動・おやすみ運転を使用する。

●（モード）をタッチするごとに「AUTO」→「SLEEP」→解除の順に変更します。

●「AUTO」の各設定は次ページのようになります。
「切」タイマー、除菌の設定の変更はできますが、その他の設定の変更はできません。
その他の設定スイッチを押すと「AUTO」運転は解除されます。
「AUTO」運転は周囲の湿度に応じて、自動的にミスト量が変化します。

●「SLEEP」の各設定は下図のようになります。
表示のランプが暗くなります。「切」タイマー、除菌の設定を変更することはできますが、その他の設定の変更はできません。その他の設定スイッチを押すと「SLEEP」運転は解除されます。
「SLEEP」運転も周囲の湿度に応じて、自動的にミスト量が変化します。

［AUTO運転］　　［SLEEP運転］

7. 運転を停止する。

● 運転 入/切 をタッチして「切」にします。
全てのランプ表示が「消灯」して運転を停止します。
●運転停止後再び運転すると各設定は初期設定状態になります。
●長期間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜き、水タンクおよび本体水そう部の水を捨ててください。

8. 水がなくなったら、水タンクに水を補給します。

●水がなくなってきますと、フロートスイッチが働いて自動停止します。
●「運転スイッチ」を「切」にしてから4 使用前の準備 3 を参照して水タンクに水を補給してください。
●水タンクを持ち上げますと、水タンクやタンクキャップに付着した水がこぼれることがありますので注意してください。

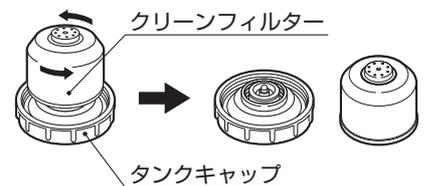
お知らせ

●スイッチにタッチするたびにランプと報知音で運転の状態をお知らせします。
●運転停止後再び運転をすると初期の設定状態で運転を始めます。（設定の記憶は残りません。）
●水温や室温が低いときなどは運転始めの霧の出かたが少ないときがあります。
そのまま20～30分運転すると徐々に多くなります。
●ミスト量が少ない設定の時は、使用環境（周囲の明るさ、背景の色、室温など）によって、霧が見えにくいことがあります。

クリーンフィルター（イオン交換フィルター）

●購入時、クリーンフィルターはタンクキャップに組みつけられています。取りはずすときはクリーンフィルターを「↺」に回します。組み付けるときはクリーンフィルターを「↻」に回して締めてください。
●クリーンフィルターは水道水中に溶解している硬度成分（カルシウムやマグネシウムなど）を取り除き白粉の発生を軽減することができます。

クリーンフィルター
タンクキャップ

●交換の目安は使用される頻度や使用される水道水の水質によってことなりますが、約4箇月（約1シーズン）または約80回使用後を目安にしてください。それ以上お使いになりますと、クリーンフィルターの処理能力が低下して白粉の発生を抑えることができなくなります。
●クリーンフィルターお求めの際は、ご購入いただいた販売店または11 お客様相談窓口までご連絡ください。
●使用したクリーンフィルターを次のシーズンに再び使用することはしないでください。再び使用した場合、クリーンフィルターの能力が下がっていることがありますので、長期間使用しなかったときは交換することをおすすめします。

6 日常の点検・手入れ

警告	
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造はしない。 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。	 分解禁止
お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 本体ごと水の中につけたり、本体を水洗いしたり、スイッチ部に水をかけたりしないでください。 ショート・感電のおそれがあります。	 電源プラグを抜く

●必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、本体が充分冷えてからおこなってください。
●床などをぬらさないようにタオル、雑巾などを用意してください。
●洗剤を使うときは薄めた台所用中性洗剤をお使いください。アルコール、ベンジン、シンナー、ミガキ粉、塩素系・酸性・アルカリ洗剤、電気ポット用洗剤(クエン酸)などは使わないでください。
本体に傷が付いたり、変色や変形することがあります。

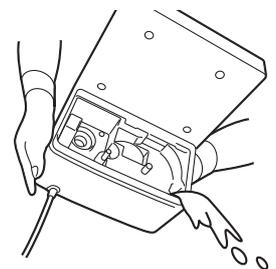
水タンク、本体外側（1箇月に1回程度）

ぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を浸した柔らかい布を、固くしぼって汚れをふき取り、からぶきをしてください。

水タンク内（毎日）

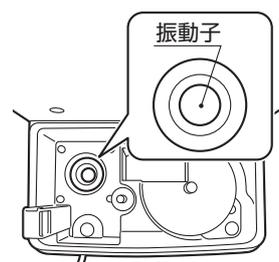
水を入れてタンクキャップを締め、振り洗いをする。（2〜3回）
（4 使用前の準備 1 項参照）
タンクキャップからクリーンフィルターを取りはずしてください。
クリーンフィルターがしっかり組みつけられていないと、振り洗い中にはずれてしまい水タンクが破損するおそれがあります。

本体水そう内の水を捨てる

本体内部の水を捨てるときは、必ず右図の方向に排水してください。
排水の際に電源プラグに水がかからないようにしてください。
また送風口から水が入らないように気をつけてください。
故障の原因になります。

振動子、水そう部の中（1箇月に1回程度）

本体から、水タンクを取り出し、柔らかい布でふいてください。
特に振動子の表面を傷つけると故障に原因になりますので、タワシや固いスポンジや金属性のブラシなどでこすらないでください。水そう内部のよごれが気になるときは、付属のブラシを用いて洗ってください。

お願い

洗剤で洗うと霧の出かたが少なくなりますのでおやめください。

7 修理を依頼される前に

次の表に従ってお調べいただき、それでも、具合の悪い時は、お買い求めの販売店または 11 お客様相談窓口一覧 にご連絡ください。

症　状	調べるところ	直しかた
運転しない。	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。
	運転表示部が点滅していませんか。	水タンクに水を入れてください。
送風は出ているが霧が出てこない。	設定湿度が現在湿度の表示値よりも低くなっていませんか。	加湿のしすぎを防ぐために加湿を停止していることがあります。
霧の出かたが少ない。	水に洗剤や油や薬品などが混入していませんか。	水タンクと本体内の水を捨て、すすいでからきれいな水を入れてください。
	本体を移動したときなどに、水が水そう内にたくさん入っていませんか。	一度本体内の水を捨て、水タンクをセットしなおしてください。
	水温や室温が低く、運転始めではありませんか。	そのまま20～30分運転すると徐々に霧が多くなります。
部屋の湿度が上がらない。	部屋が適用床面積より広すぎませんか。	――
	換気をしていませんか。	――
	床や壁の材質、または換気状態によって異なります。（床がじゅうたんの場合は湿度が上がりにくいことがあります。）	――
においが出る。	本体水そうや水タンクが汚れていたり、水が古くなったりしていませんか。	本体水そうや水タンクをお手入れしてください。

異常報知について

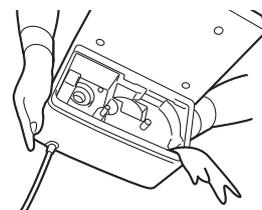
製品が異常のときは安全装置がはたらきます。

症　状	調べるところ（原因）	直しかた
湿度モニター部に「ER」が表示されている。	ヒーターが異常過熱し温度ヒューズが断線しました。	お買い求めの販売店か 11 お客様相談窓口 にご連絡ください。

8 保　管

保管のしかた

保管する場合は、12 日常の点検・手入れ をおこなってください。
水タンク、本体の排水後は、陰干ししてよく乾燥させてから、高温多湿の場所をさけて保管してください。

●本体内部の排水は、水タンクを取りはずして必ず右図の方向に傾けておこなってください。

9 仕　様

	項目	仕様
型式の名称		THK-F400
種類		加熱超音波式
使用水		水道水
製品能力	加湿能力	最大 約0.4L/h
製品能力	連続加湿時間	約12時間（最大加湿時）
製品能力	適用床面積の目安	木造和室11㎡（7畳）
製品能力	適用床面積の目安	プレハブ洋室18㎡（11畳）
製品能力	タンク容量	約5L

	項目	仕様
自動湿度調節		あり
電気特性	電源	単相100V　50/60Hz
電気特性	定格消費電力	125W
電気特性	保護装置	渇水時停止フロートスイッチ
電源コード		約1.4m
外形寸法		幅245×奥行175×高さ335㎜
質量（水を除く）		約4.0kg

10 保証とアフターサービス

●**この製品には保証書がついています。**
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

●**保証期間はお買い求め日から1年間です。**
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●**保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。**
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理いたします。費用など詳しいことはお買い求めの販売店にご相談ください。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

●**加湿器の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6年です。**
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

使用中に異常が生じたときは、直ちに運転を停止し、電源プラグを抜き、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。 アフターサービスをお申しつけいただくときは、右のことをお知らせください。	型　　式……THK-F400 故障状態……できるだけ詳しく ご芳名・ご住所・お電話番号

●**アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合、お買い求めの販売店または 11 お客様相談窓口一覧 にご相談ください。**

●**ご贈答、ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、11 お客様相談窓口一覧 にご相談ください。**

11 お客様相談窓口一覧

株式会社トヨトミ　フリーコール　**0120-104-154**

受付時間：平日（月曜～金曜）：午前9時～午後5時（土・日・祝日は除く）

本　　社	〒467-0855　名古屋市瑞穂区桃園町5番17号 TEL.052-822-1144　FAX.052-822-2742
札幌支店	〒063-0867　札幌市西区八軒7条東5丁目3番8号 TEL.011-717-5006　FAX.011-717-5026
仙台支店	〒983-0034　宮城県仙台市宮城野区扇町7丁目2-40 TEL.022-352-8135　FAX.022-352-8481
青森営業所	〒030-0861　青森市長島2丁目14番10号 TEL.017-777-7591　FAX.017-773-2805
東京支店	〒111-0051　東京都台東区蔵前2丁目5番3号（筑摩書房ビル8F） TEL.03-5942-6171　FAX.03-5942-6172
前橋営業所	〒371-0847　前橋市大友町2丁目8-1 TEL.027-251-8826　FAX.027-252-8224
名古屋支店	〒467-0855　名古屋市瑞穂区桃園町5番13号 TEL.052-822-1461　FAX.052-822-1460
静岡営業所	〒422-8036　静岡市駿河区敷地2丁目9番20号 TEL.054-238-2278　FAX.054-238-2363
金沢営業所	〒920-0025　金沢市駅西本町3丁目16番33号 TEL.076-223-4488　FAX.076-223-4490
松本営業所	〒390-0846　松本市南原1丁目19-2（塚本ビル） TEL.0263-28-0417　FAX.0263-28-0416
大阪支店	〒556-0021　大阪市浪速区幸町3丁目6番15号 TEL.06-6562-0351　FAX.06-6562-0361
高松営業所	〒761-8054　高松市東ハゼ町16-15 TEL.087-865-1617　FAX.087-865-1618
広島営業所	〒733-0833　広島市西区商工センター6丁目4番20号 TEL.082-277-2351　FAX.082-277-5990
福岡支店	〒813-0062　福岡市東区松島3丁目13-10 TEL.092-611-1974　FAX.092-611-7289
鹿児島営業所	〒899-5433　鹿児島県姶良郡姶良町西宮島町1-11 TEL.0995-66-3131　FAX.0995-66-3181

TOYOTOMI

トヨトミ 加熱超音波式ハイブリッド加湿器 保証書

型式		THK-F400	
※ 保証期間		お買い求め日より1年間	お買い求め日　　年　　月　　日
※ お客様	ご住所 ご芳名	〒　　TEL	
※ 販売店	住所 氏名	〒　　TEL ㊞ またはサイン	

（※印欄に記入がない、あるいは購入・支払いを証明するものがない場合は無効となりますから必ずご確認ください。）

本保証書は、本書記載の内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。

株式会社トヨトミ

〒467-0855　名古屋市瑞穂区桃園町5番17号　TEL.052-822-1144

無料修理規定

1. お買い求め日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、当社が無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合は、本書あるいは購入日・支払いを証明するものをご提示のうえ、お買い求めの販売店または当社にご依頼ください。
3. ご転居・ご贈答品等で、本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、当社へお問い合わせください。
4. 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
   - イ. 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
   - ロ. お買い求め後の落下・転倒・衝撃・輸送等による故障及び損傷。
   - ハ, 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害や異常電圧などによる故障及び損傷。
   - ニ. 居室用加湿以外（例えば、温室や業務用の使用、車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
   - ホ. 本書の提示がない場合。
   - ヘ. 本書にお買い求め年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合。通信販売等で購入され、それを証明する商品の送り状・支払明細書の提示がない場合。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

● この保証書は、本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明な場合は、お買い求めの販売店又は当社にお問い合わせください。

● 保証期間経過後の修理等について、詳しくは「保証とアフターサービス」の項をご覧ください。

修理メモ	
年月日	
修理内容	
担当者	

お客様へ…おぼえのために記入されると便利です。

型式	THK-F400	お買い求め年月日	年　　月　　日
お買い求め店名	（電話番号）（　　　）　　ー		